

料金別納郵便



留守 玲 市岡真治 展

令和4年4月23日(土)~29日(金) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日29日は午後5時まで)

作家在廊日：留守 玲/4月23日(土)~25日(月)、29日(金)

市岡真治/4月23日(土)、24日(日)、26日(火)~29日(金)

金属造形家・留守玲の新作《Depth of Fusion》は、素材自体は熔けた鉄が重なってできた板の層だが、裏面から熱をかけた時の熔け込みの深浅によって表面の表情に変化が起る。その変化の面白さを注視したもので、硬いという鉄の概念を見事に裏切り、柔らかい鉄から醸し出される奥深い表情を表現している。まだ発展途中の作品だが今後の展開が楽しみである。一方、市岡真治の《魚々子(ななこ)筒》及び《魚々子金輪寺》は、金属器の表面に魚々子鑿(たがね)で文様を打った大小の蓋物で、魚々子文を加飾することで表情がどう変化するのかを試みた繊細な作品である。この二人の作品は、オブジェと器、革新と伝統と表現こそ違うが、共に金属の持つ変化の面白さを表現している。他にも花器や茶器など70点余が展示されるが、DMの作品を眺めていると、琴瑟調和して二人の息がぴったりと合い、神々しい山裾に建つ神聖な小堂といったイメージが浮かんでくる。この取り合せは絶妙である。

森 孝一(美術評論家)

留守 玲
る す あき

昭和51年 宮城県生まれ

平成15年 第11回 日本現代藝術奨励賞

平成19年 工芸のカー21世紀の展望(東京国立近代美術館工芸館)

平成28年 第2回 菊池寛実賞(智美術館)、第27回 タカシマヤ美術賞

平成29年 第34回 淡水翁賞 最優秀賞

市岡真治
いちおかしんじ

昭和51年 広島県生まれ

平成14年 多摩美術大学大学院 美術研究科 修了

神奈川県小田原市にて鍛金による作品を制作

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階

03-3352-5118 gallery@kakiden.com

<https://www.kakiden.com/gallery/>



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

